

県 関 係 文 献 紹 介

○ 洲本市立淡路文化史料館編並びに発行(1996)

「淡路島の自然シリーズ 淡路島の昆虫」 B5, 10p.

1996年7月30日～9月8日に淡路昆虫研究会と自然環境研究所の協力で、洲本市立淡路文化史料館において企画展「淡路島の自然シリーズ 淡路島の昆虫」が開催され、その時出版されたものである。淡路島の昆虫が写真入りで要領よく解説されており、同島の昆虫相の概要がわかりたいへん参考になる出版物であるので、此处に紹介しておく(1997年1月7日に送られてきたもので紹介が遅くなった)。(T)

○ 野生生物を調査研究する会発行(1996.Ⅷ)

「生きている武庫川」(総集編・資料編)

武庫川流域の自然を絵と写真で紹介したもので[総集編];武庫川の生い立ち、流域の概況, 52p. [資料編];動物・植物・岩石の写真と説明, 112p. の2冊からなっている。ほぼフルカラーのきれいな本である。ただ一般の人が対象のものであるから資料としては物足りない。監修者に八木 剛氏、この本を作った人たちの中に近藤伸一氏、高島 昭氏と本会のメンバーの方たちもふくまれている。

本書希望の方は「野生生物を調査する会」〒665 宝塚市伊子志3丁目16-27(電話0797-71-4452)に申し込めば2,500円(送料310円)にて送本して貰える(振替 01100-2-42169)。

本書も1996年8月出版となっているが、知ったのは1997年3月であった。(T)。

○ 兵庫県立人と自然の博物館刊行(1996・Ⅲ)

「兵庫県南部地震における人と自然の博物館の活動」 A4, 112p.

標題のごとく兵庫県南部地震における人と自然の博物館館員の活動と題して、断層を中心とした6つの報告がふくまれ、総合共同研究「兵庫県南部地震と六甲山系」と題して地形地質、植生、鳥類、昆虫等に関する9つの報告がふくまれている。

昆虫関係では、中西明德・沢田佳久両氏による「六甲山系北麓のゲンジボタル」(p. 81-84)、中西明德・大谷 剛両氏による「チョウと共生する街造り」(P. 85-88)の2報告がふくまれている。

(本書の出版は1996年3月となっているが、送られてきたのは1997年3月であった) (T)。

県関係・学会誌・同好会誌・連絡誌

(X・1996 - III・1997)

- 兵庫生物ニュース(兵庫県生物学会) No. 27 (X・1996)
- のせ(大阪昆虫同好会連絡誌) Vol. 25, No. 6~No. 13 (1996・VI~1996・XI)
Vol. 26, No. 1 (1997・I)
- Awajiensis(自然環境研究所) Vol. 4 (X・1996)
- PARNASSIUS(淡路昆虫研究会会誌) No. 44 (XI・1996)
- 姫昆サロンニュース(姫路昆虫同好会連絡誌) No. 122 (I・1997)
- Crude(大阪昆虫同好会会誌) No. 41 (1997・I)
- 混蟲ずかん(但馬むしの会連絡紙) No. 56 (II・1997)
- 自然とともに(兵庫県環境政策課林務課刊) No. 36 (II・1997)
- Nature and Human Activities(県立人と自然の博物館・英文紀要) Vol. 1 (1996)
- 人と自然(県立人と自然の博物館・邦文紀要) No. 7 (1996)

交 換 誌

- KURAKON(倉敷昆虫同好会連絡紙) No. 38 (X・1996)
- FUTAO(フタオ会) No. 23 (VII・1996), No. 24 (I・1997)
- 混蟲ずかん(但馬むしの会連絡紙) No. 56 (II・1997)
- 蝶類年鑑 1995(蝶研出版) (II・1997)